

将来人口推計

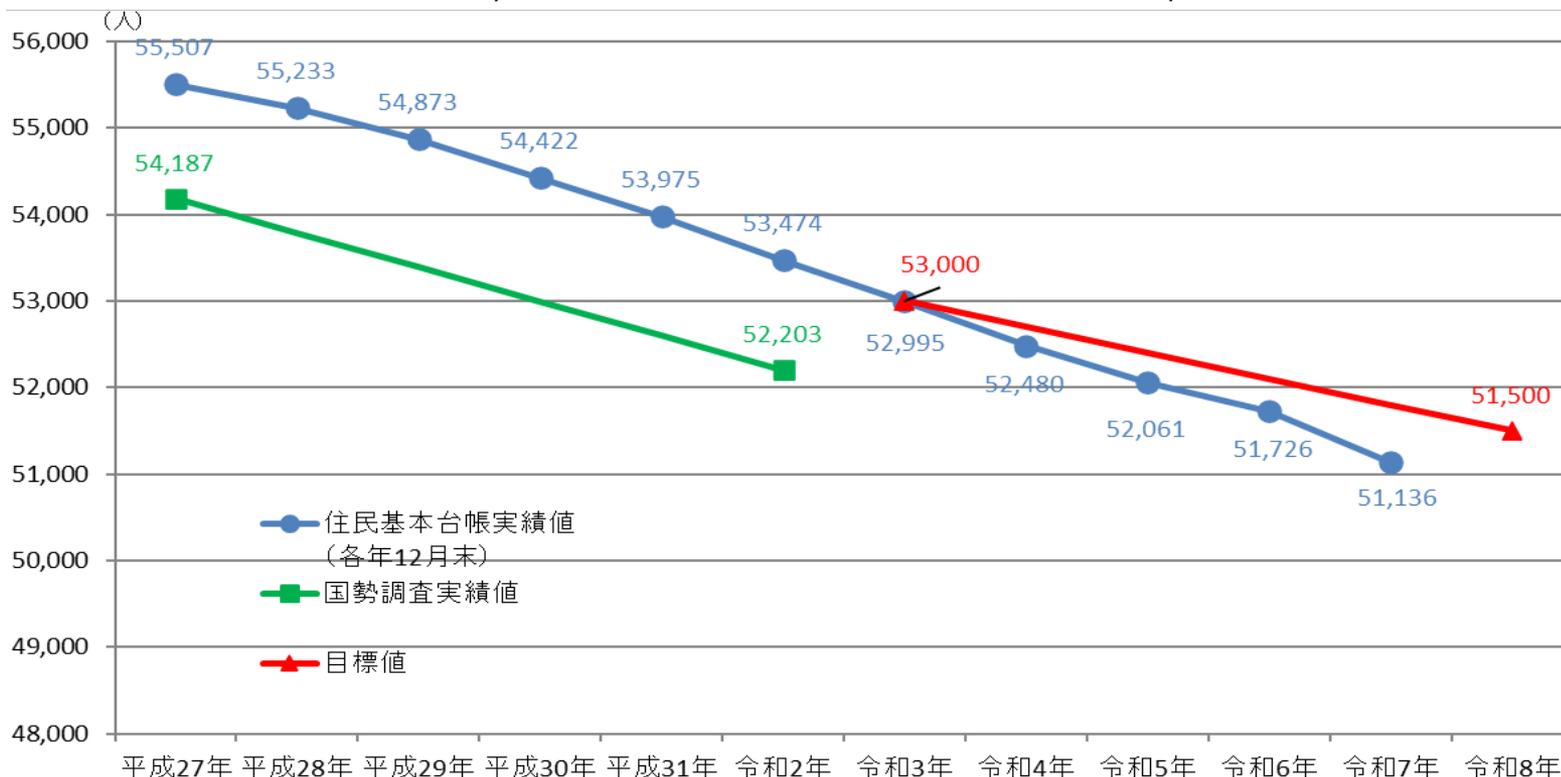
1. 現在の人口

(1) 目標

本市の将来人口を令和8年（2026年）において51,500人（住民基本台帳人口）と設定しました。

(2) 実績と推計人口

令和7年（2025年）12月末時点の住民基本台帳人口実績値は、現計画に示す将来人口における令和8年（2026年）設定値である51,500人を約360人（0.7%）下回り、51,136人になりました。

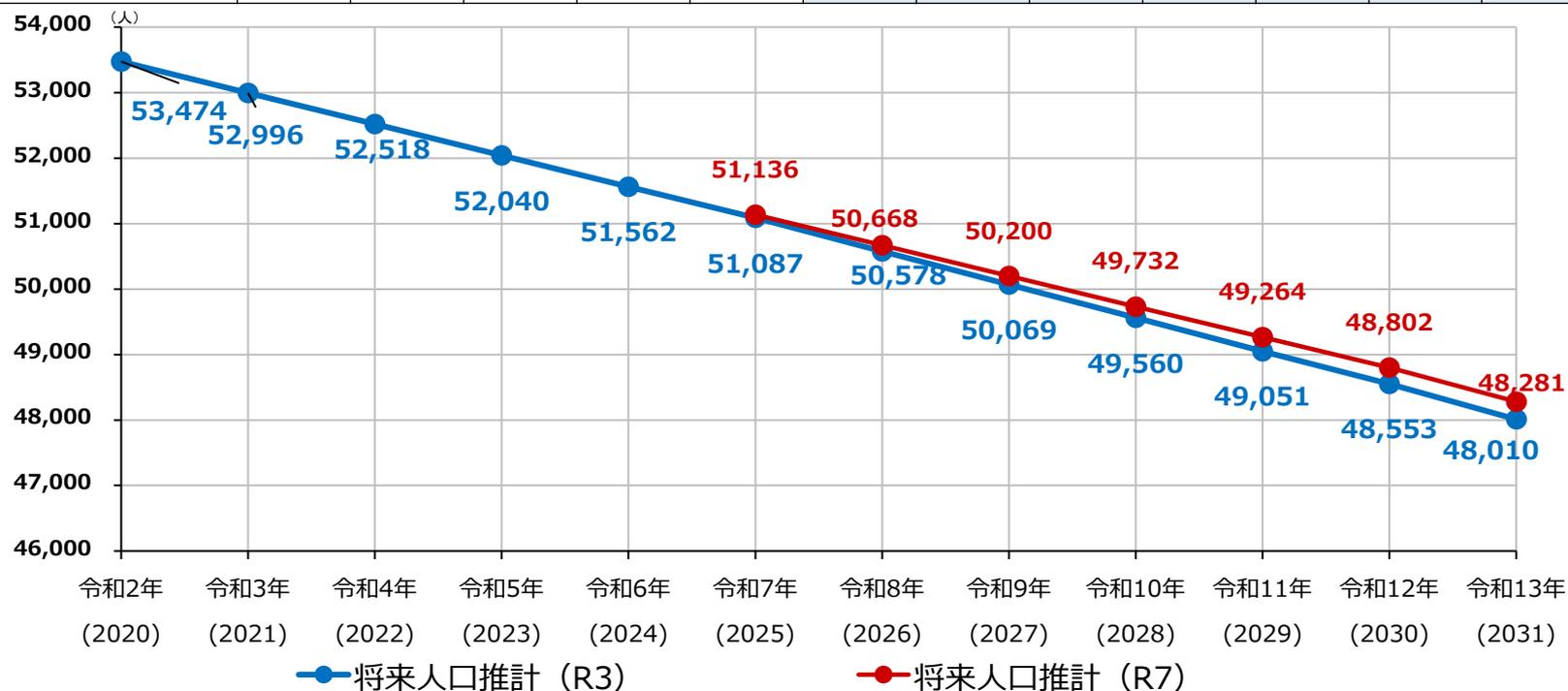


2. 将来人口推計

(1) 将来人口推計値

本市の将来人口を令和7年（2026年）51,136人（住民基本台帳人口）で社人研推計に準拠した形で推計を算出した結果、令和13年度時点の将来人口推計値は約300人の増加となりました。

	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)	令和7年 (2025)	令和8年 (2026)	令和9年 (2027)	令和10年 (2028)	令和11年 (2029)	令和12年 (2030)	令和13年 (2031)
R3年度推計	53,474	52,996	52,518	52,040	51,562	51,087	50,578	50,069	49,560	49,051	48,553	48,010
R7年度推計						51,136	50,668	50,200	49,732	49,264	48,802	48,281



社人研推計の最終的な推計結果と整合的な、将来の生残率、純移動率、子ども女性比及び0▲4歳性比の各指標を利用した推計(コホート要因法による将来人口推計)

(2) 将来人口推計の結果

令和13(2031)年時点において、今回の将来人口推計値が前回を上回っている主な要因は、生残率の上昇と移動率の改善にあります。

- 健康寿命の延びに伴う生残率の上昇で70歳代が上振れしていると考えられる。
- 社人研推計による前回推計時と今回推計時を比較すると、移動率が改善されている。

【前回の将来人口推計値と今回の将来人口推計値の比較】

	令和8(2026)年						令和13(2031)年						合計		
	前回推計値 (A)		今回社人研推計値 (B)		増減数 (B - A)	増減率	寄与度	前回推計値 (C)		今回社人研推計値 (D)		増減数 (D - C)		増減率	寄与度
	構成比	構成比	構成比	構成比											
合計	50,578	100.0%	50,668	100.0%	90	0.2%	0.17794	48,010	100.0%	48,281	100.0%	271	0.6%	0.56447	合計
0~4歳	1,393	2.8%	1,477	2.9%	84	6.0%	0.16608	1,287	2.7%	1,258	2.6%	-29	-2.3%	-0.06040	0~4歳
5~9歳	1,718	3.4%	1,805	3.6%	87	5.1%	0.17201	1,548	3.2%	1,597	3.3%	49	3.2%	0.10206	5~9歳
10~14歳	1,950	3.9%	1,927	3.8%	-23	-1.2%	-0.04547	1,792	3.7%	1,871	3.9%	79	4.4%	0.16455	10~14歳
15~19歳	2,040	4.0%	2,091	4.1%	51	2.5%	0.10083	1,965	4.1%	1,902	3.9%	-63	-3.2%	-0.13122	15~19歳
20~24歳	1,962	3.9%	2,004	4.0%	42	2.1%	0.08304	1,826	3.8%	1,802	3.7%	-24	-1.3%	-0.04999	20~24歳
25~29歳	1,891	3.7%	2,010	4.0%	119	6.3%	0.23528	1,651	3.4%	1,802	3.7%	151	9.1%	0.31452	25~29歳
30~34歳	2,188	4.3%	2,308	4.6%	120	5.5%	0.23726	1,910	4.0%	1,945	4.0%	35	1.8%	0.07290	30~34歳
35~39歳	2,525	5.0%	2,650	5.2%	125	5.0%	0.24714	2,228	4.6%	2,339	4.8%	111	5.0%	0.23120	35~39歳
40~44歳	2,867	5.7%	3,009	5.9%	142	5.0%	0.28075	2,591	5.4%	2,704	5.6%	113	4.4%	0.23537	40~44歳
45~49歳	3,292	6.5%	3,520	6.9%	228	6.9%	0.45079	2,971	6.2%	3,090	6.4%	119	4.0%	0.24787	45~49歳
50~54歳	3,708	7.3%	3,393	6.7%	-315	-8.5%	-0.62280	3,318	6.9%	3,562	7.4%	244	7.4%	0.50823	50~54歳
55~59歳	3,550	7.0%	3,396	6.7%	-154	-4.3%	-0.30448	3,696	7.7%	3,409	7.1%	-287	-7.8%	-0.59779	55~59歳
60~64歳	3,501	6.9%	3,600	7.1%	99	2.8%	0.19574	3,545	7.4%	3,372	7.0%	-173	-4.9%	-0.36034	60~64歳
65~69歳	3,537	7.0%	4,012	7.9%	475	13.4%	0.93914	3,386	7.1%	3,478	7.2%	92	2.7%	0.19163	65~69歳
70~74歳	3,893	7.7%	4,222	8.3%	329	8.5%	0.65048	3,377	7.0%	3,784	7.8%	407	12.1%	0.84774	70~74歳
75~79歳	4,061	8.0%	3,450	6.8%	-611	-15.0%	-1.20804	3,578	7.5%	3,869	8.0%	291	8.1%	0.60612	75~79歳
80~84歳	3,018	6.0%	2,766	5.5%	-252	-8.3%	-0.49824	3,525	7.3%	2,963	6.1%	-562	-15.9%	-1.17059	80~84歳
85~89歳	2,091	4.1%	1,895	3.7%	-196	-9.4%	-0.38752	2,280	4.7%	2,058	4.3%	-222	-9.7%	-0.46240	85~89歳
90歳以上	1,393	2.8%	1,133	2.2%	-260	-18.7%	-0.51406	1,536	3.2%	1,476	3.1%	-60	-3.9%	-0.12497	90歳以上

※ ■の網掛けは令和13(2031)年時点で前回推計値より減少している年代
■の網掛けは令和13(2031)年時点で前回推計値より増加している年代

3. 人口減少対策の方向性の検証

(1) 人口減少対策の方向性の結果

将来人口推計の結果を踏まえ、少子高齢化の進行に歯止めをかけるため、長期総合計画では方向性を定めており、その検証の結果では、「子育て世帯の移住・定住を促進する」、「子どもを産み育てやすい環境を整える」とともに目標通りに推移しており、人口減少対策の効果が出ています。

人口減少対策① 子育て世帯の移住・定住を促進する

【目標】

年間30世帯・105人の子育て世帯の転入増

【実績（令和6年まで）】

○子育て・三世帯同居近居住宅支援事業実績の推移

	実績		目標比 (年間 30世帯、105人)	
	世帯	人口	世帯	人口
令和4年	46世帯	165人	+16世帯	+60人
令和5年	49世帯	176人	+19世帯	+71人
令和6年	61世帯	214人	+31世帯	+109人

【現状と必要性】

- 令和4年から6年にかけての実績は、各年目標値を上回っており、順調に子育て世帯が増加しています。
- 現状の移住・定住策を維持し、引続き子育て世帯の移住・定住を図ります。

人口減少対策② 子どもを産み育てやすい環境を整える

【目標】

令和13年度までの10年間で135人の出生数増

【実績（令和7年まで）】

○人口減少対策①による転入世帯の転入後の出生数

	実績		目標比	
	出生数	累計	出生数	累計
令和4年	2人	2人	+2人	+2人
令和5年	10人	12人	+7人	+9人
令和6年	14人	26人	+8人	+17人
令和7年	9人	35人	0人	+17人

【現状と必要性】

- 令和13年度までの10年間で135人の出生数増の目標に対し、令和7年までの4年間における出生数の合計が35人増となっており、令和8年の目標値30人を上回っています。
- 地域全体の子育てや教育に関する体制の充実を引き続き図り、安心して出産・子育てができる環境整備を推進していく必要があります。

(2) 人口減少対策の方向性の結果を踏まえた対策

現計画で掲げた人口減少対策の効果が出ていますが、令和7年人口の実績値は目標人口50,000人と比較すると約360人下回る結果となっています。目標値との乖離が大きい年少人口の増加に向け、現対策で転入増を図るとともに、子育て世帯の流出抑制に力を入れることで、**令和13年度目標人口50,000人**を維持します。

将来人口の目標値と実績値の比較

【実績（令和7年）】

○塩竈市の人口

	基準値	実績値	目標値	目標比
	R3	R7	R8	R7▲R8
年少人口	5,439	4,941	5,600	▲659
生産人口	29,437	28,279	27,900	379
老年人口	18,119	17,916	18,000	▲84
合計	52,995	51,136	51,500	▲364

出所：塩竈市「住民基本台帳人口(12月末)」

【現状と今後の方向性】

- 令和8年度の目標値に対して令和7年度実績値を比較すると、年少人口は659人減、老年人口84人減となっており目標値を約360人下回っています。
- 年少人口に大きな乖離が見られることから、子育て世帯に対する対策がより必要となります。

塩竈市の社会増減

【実績（令和6年まで）】

○塩竈市の社会増減の推移

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計
R3	81	▲2	▲136	72	71	24	▲19	91
R4	49	▲18	▲39	1	5	27	▲45	▲20
R5	79	▲13	▲72	76	54	21	▲55	90
R6	57	45	▲39	32	42	36	▲52	121

出所：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

【現状と今後の方向性】

- 社会増減について、20～29歳、60歳以上については、いずれも転出超により社会減が多くなっています。30～59歳については社会増となっています。
- 子育て世帯と推定される20～29歳の流出が大きいことから、引き続き安心して出産・子育てができる環境整備などを図るほか、人口流出の抑制を図る必要があります。